

わくわく俱楽部

江口グループ

第149号

令和元年12月発行

目に見えないものを大切にする力

江口グループ 代表取締役社長 江口 充



なさんこんにちは！今月も江口グループわくわく俱楽部を読んで頂きありがとうございます。あつという間に今年も残り1ヶ月を残すのみとなりましたね。月日が経つのは早いものです。そして来年2020年は東京オリンピックの年です。最近ではマラソンの開催地変更など、色々とゴタゴタすることがありました。どの競技においても日本代表の選手たちの活躍を楽しみにしています！



で今月はアカツキ創業者の塩田元規さんの「ハートドリブン　目に見えないものを大切にする力」という本を読みました。これから時代にとても大切なことだなと共感することがあった本です。ご紹介したいと思います。



代はもう変わっている。あなたも、個の時代、共感の時代、多様性の時代など、色々な言葉を耳にしたことがあると思う。僕は、これからの時代は、ハートやつながりといった目に見えないものが中心になると信じている。合理・論理など目に見えるものが中心の時代から、感情・ハートが中心の時代だ。「遊びやワクワクだけじゃ生きていけない」っていう言葉がこれからは逆になる。今まで、無駄だと言われた子供のような好奇心が価値を持つ。頭で考えて社会に合わせて生きる時代は終わった。外側ではなく、自分の内側を大切にする時代だ。内側にある、ハートに従って、自分の可能性を開いていく。

そして、やること(Doing)だけじゃなくて、自分の在り方(Being)も大切にしていく。それは、一人ひとりが自分らしくハートに従って生きる時代。そして、多様な生き方をお互いに認め合えて、みんなの人生がカラフルに輝く“ハートドリブン”な時代だ。ハートを大切にする人が結果として社会的な成功も得られると僕は感じている。

ビジネスでも、遊び心や感情を大切にすることが成長の鍵になる。便利だから商品が売れるという機能的価値を中心だった時代は、もう終わった。精神的、感情的な満足に価値の源泉が移っていく。見えない感情的な価値(感情価値)がどんどん高まっていく時代だ。感情価値に払う金額は、機能的価値に払う金額よりはるかに大きい。そして、感情価値の高まりは、顧客をファンに変えていく。だからビジネスでも、心が動く、ワクワクなどの感情が力になる。

僕が経営しているアカツキという会社は、まさに目に見えないものを大切にしてきた会社だ。社名には、“世界に夜明けを”という想いを込めた。創業当初から、合理・論理を重視す

る価値観じゃなく、感情・ハートといった

目に見えないものを中心とする価値観を大切にしてきた。だからこそ、アカツキは大きく成長してきたんだと思う。

僕たちは、自分たちの仕事を「人の心を動かす素晴らしい体験を提供して、一人ひとりの人生を豊かに色づけていくこと」と定義している。心を動かす体験をキーワードに、デジタルからリアルまで幅広く事業展開している。デジタルでは、モバイルゲームをグローバル展開し、アメリカのハリウッドでは映画事業も行っている。リアルでは、アウトドア専門のアクティビティ予約プラットフォーム「SOTOASOBI(そとあそび)」や、横浜駅直通の複合体験エンターテイメントビル「アソビル」を運営している。「うんこミュージアム」や宇宙をイメージした屋内キッズテーマパーク「PuChu!(プチュウ)」など人気コンテンツが続々誕生している。また、スポーツ事業も始めていて、2018年からは東京ヴェルディの主要株主となり、コーポレートパートナーとして応援している。

これらは全て、心を動かす体験という点でつながっている事業だ。一般的なエンターテイメントという事業領域にこだわってはいない。全ての産業はエンタメ化していくという信念で、アカツキの事業を拡大している。だから、アカツキの事業以外でも、企業やアーティスト、クリエイターへの投資も含めて、幅広い領域に事業展開しようとしている。



トドリブンの「ドリブン」とは身体の内側から出てくる原動力という意味で、「ハート」と組み合わせて、「一人ひとりが自分のワクワクする感情に突き動かされて行動する社会をつくろう」ということを表現しているそうです。塩田元規さんは、1983年生まれの36歳。横浜国立大学を卒業後、ディー・エヌ・エーに入社し、2010年(27歳)に香田哲朗氏とアカツキを創業しました。2016年の33歳の時にマザーズ市場に上場し、2017年には東京証券取引所一部に変更。2019年3月期の決算は前年対比で28%の売上増の281億円、営業利益も29%増の136億円だったそうです。まさに破竹の勢いの新進気鋭の会社です。



代は大きく変わってきています。いや、変わりました。そして、ますます時代は、「論理や合理性から感性」の時代になってきています。感性とは、「ワクワクドキドキ」「ハッとする」「驚く」「感動する」「温かなぬくもり」「感じる」…。そんなことだと思います。感性を磨き…もっと、目に見えないものを大切にする力を身につけたいなと思いました。

4代目の江口グループ現場だより

子ども現場見学会2019。江口組に沢山の子ども現場監督が集まりました!

9月に開催予定だった「子ども現場見学会2019」でしたが、台風接近のために延期となり11月4日に15名の小学3年生～6年生が集まり開催しました。子ども現場見学会は、江口組の工事現場と北陸新幹線の工事現場の見学、工事現場で働く車の試乗体験、みんなで力を合わせて花壇造りのプログラムで朝から夕方まで行いました！

まづ梯川の工事現場では、大雨が降って川の水が増えても壊れない強い堤防を造っている様子を見学し、北陸新幹線の工事現場では2023年に新幹線が通る場所を歩いて渡りました。ヘルメットを被ったかわいい現場監督たちは、真剣な表情で現場を見学し、興味津々で質問も沢山飛び出していました。

次に千代田機電さんへ行き、道路工事で使うタイヤローラーと地上12mまで上昇する高所作業車に乗りました。タ

イヤローラーは自らハンドルを握り運転し大興奮の子どもたち。また高所作業車は12mまで上昇し小松の街を一望することができました。

最後にお昼ご飯を食べた後は、みんなで力を合わせ、レンガブロックを一つ一つ積み重ねて花壇を作りました。工事現場の仕事はみんなで力を合わせて行う仕事です。みんなで力を合わせて協力して1つのモノを造ることを子どもたちに体験してもらいたくて行いました。モルタルを敷き、レンガを載せ、高さを合わせ、傾きを水平にします。みんな真剣な顔つきで、レンガを積んでいる姿はとてもカッコよかったです。約2時間半で一人ひとりの名前入りの花壇が完成しました。

将来 来工事現場で働きたい！」「工事することが自分たちの暮らしに役立つことがわかった」など嬉しい言葉を沢山もらい、私たちスタッフは子どもたちから沢山の元気をもらえる一日となりました。楽しい時間を子どもたちと過ごすことができました！



土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。

皆さんのご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^^)/



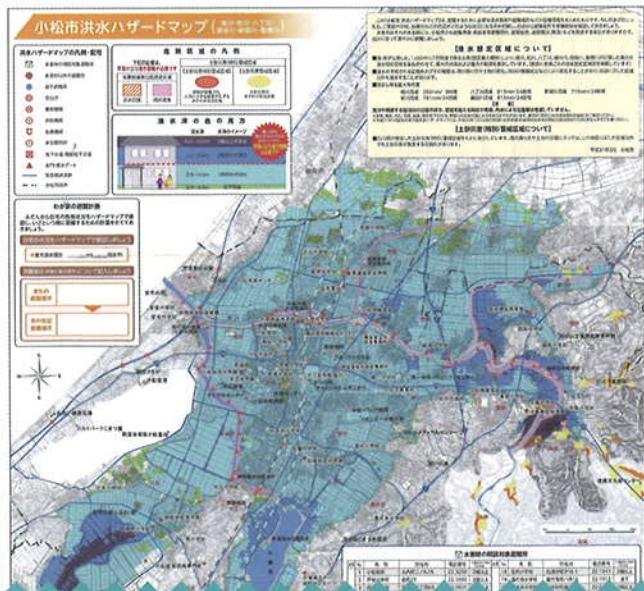
あなたのお家は大丈夫? ハザードマップをチェックしてみよう!

9 月10月と台風の猛威が日本各地に被害をもたらしました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、一日も早い復旧をお祈りいたします。10月の台風10号では大雨をもたらし各地で河川の決壊があり、各地で水害が起きました。ニュースを見るとまさかという光景ばかりで本当に驚いています。

と ころで、ハザードマップをご存知でしょうか?「ハザードマップ」とは、一般的に「自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図」とされています。

今 回台風19号によって水害の被害にあった地域のハザードマップを見てみると、水害が起きた地域とハザードマップの被害予想の地域にあてはまっていたというニュースがありました。万が一の時に備えて、みなさんも自分がお住まいのハザードマップを一度ご確認してみてはいかがでしょうか?

小 松市ではホームページでハザードマップが公開されています。「小松市 ハザードマップ」で検索するとネットで閲覧することができます。もちろん他の市町村でも見ることができます。そして被害予想だけではなく、避難場所なども明記してあるので、もしもの時の想定をしておくといいかもしれませんね!



「小松市洪水ハザードマップ」ページのURL
https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/bousaihan/kakushuhaza_domappu/9209.html

災害に強い堤防造り。 梯川の工事現場より

ま さかの台風19号の大雨で各地の河川の堤防が決壊し大きな被害をもたらしました。石川県内にも手取川や梯川の一級河川をはじめ多くの川があります。手取川や梯川は昔から大雨によって大洪水をもたらした歴史もあります。またそのような被害が起きないように今は河川の工事が進められています。

江 口組では現在梯川で2箇所、手取川で1箇所の工事を行っています。堤防を強く高くしたり、河川の水を流す能力を高めたりする工事が行われています。管理をする金沢河川国道事務所さんからは梯川の工事状況や梯川を知ることができる「広報かけはしがわ」が発行されています。

小 松市の広報とともに梯川周辺に住むみなさんには配られていますし、ホームページでも公開されています。この広報を読みながら梯川のことを知ってもらい、工事へのご理解とご協力をよろしくお願ひします。



広報かけはしがわ
http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/paper/kake.html





工事部

工事部
松原小豆美

燒鳥屋 秋吉

°好きなメニュー … 串焼ピーマン



理由 …今まで苦手で食べられなかつたピーマン…
ですが、勘力業者の方とお食事に行った際に、
食べて見たら…自分で驚くぐら…美味しい感じ
ました。 (嫌いな物を好きになれた満足感)

智井 夢大



こんにちは。あっという間に12月ですね。
今年は特に慌ただしく過ぎた一年だった
ように思います。今月も“**好きなお店の
好きなメニュー(食べ物)**”です。



工事部
森中 重樹

山根 勝敏

甘い物が大好きなので“深沢製あん”さんのあんこ、“行松旭松堂”さんの雪花糖や季節のかわいい練り切りも大好きなのであるが、地元(能美市)の“たなか”さんの『昭和九年』がなじみの味である^_^

中にカステラとクリームとあんこが絶妙なバランスで
入ってます。この本を書いていたら食べたくなりました。



かんざいの ねぎ焼
ねぎがたくさん入って
美味しいからです。

森林旁樹



川松駅前「焼鳥市場」の
シロレバ一。



新鮮で濃厚なレバーの風味と
珍しい舌触りはやみつきになります。
(本当は紹介したくなかった…)

お店を紹介、
みんなに
知ってほしいこと、
ご意見・ご感想などが
ございましたら
ご連絡下さい!



発行元

EGUCHI

江口グループ

株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311(代)